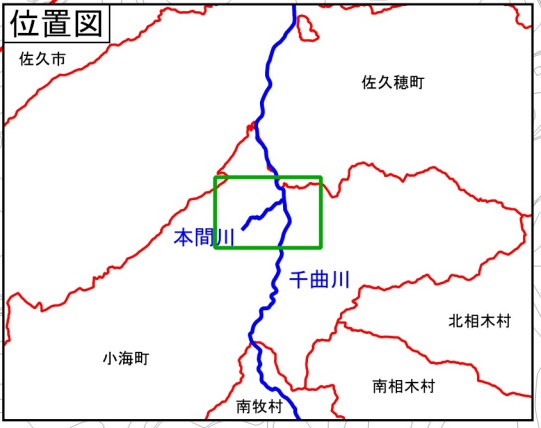
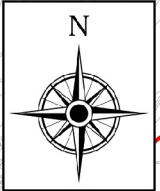


信濃川水系 本間川 洪水浸水想定区域図【想定最大規模降雨】



凡例

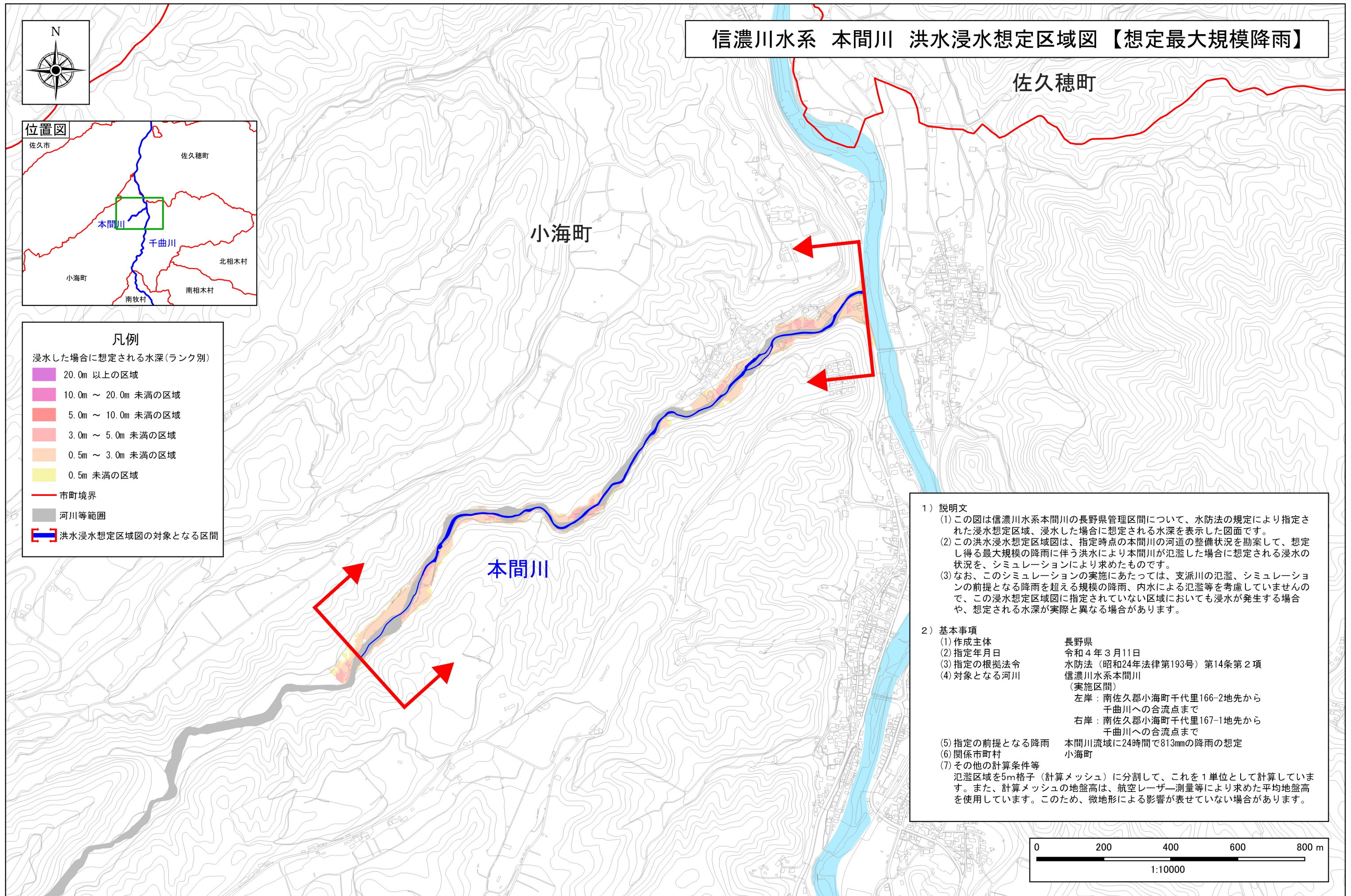
浸水した場合に想定される水深(ランク別)

20.0m 以上の区域
10.0m ~ 20.0m 未満の区域
5.0m ~ 10.0m 未満の区域
3.0m ~ 5.0m 未満の区域
0.5m ~ 3.0m 未満の区域
0.5m 未満の区域

— 市町境界

— 河川等範囲

— 洪水浸水想定区域図の対象となる区間



1) 説明文

(1) この図は信濃川水系本間川の長野県管理区間について、水防法の規定により指定された浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の本間川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により本間川が氾濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支派川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域図に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります、想定される水深が実際と異なる場合があります。

2) 基本事項

(1) 作成主体	長野県
(2) 指定年月日	令和4年3月11日
(3) 指定の根拠法令	水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
(4) 対象となる河川	信濃川水系本間川(実施区間) 左岸: 南佐久郡小海町千代里166-2地先から千曲川への合流点まで 右岸: 南佐久郡小海町千代里167-1地先から千曲川への合流点まで
(5) 指定の前提となる降雨	本間川流域に24時間で813mmの降雨の想定
(6) 関係市町村	小海町
(7) その他の計算条件等	氾濫区域を5m格子(計算メッシュ)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。

